

環太平洋地域の異文化理解の理論とエスノグラフィー

環境人間学部 深川 宏樹

キーワード

文化人類学、環太平洋文化、異文化理解、質的調査法、エスノグラフィー

研究概要

文化人類学の観点から、環太平洋地域の文化と社会について研究している。とくにパプアニューギニア高地の村落を調査地に、当地域の人間概念と社会性について、紛争、感情、村落裁判、植民地統治とキリスト教といった個別テーマから研究し、質的調査法に基づくエスノグラフィー（民族誌）を執筆している。そこから、異文化理解の原論の人類学的再構築、グローバル化時代における異文化接触を視野に入れた理想的な社会の理論構築を目指している。また、パプアニューギニアの大規模紛争後社会における共存と未来についての研究にも着手している。

現在の研究課題

1. 環太平洋文化における人間概念と社会性についての人類学的研究
2. 異文化理解の原論の人類学的再構築
3. パプアニューギニア紛争後社会における未来と感情の動態についての人類学的研究

アピールポイント

第13回日本文化人類学会奨励賞 受賞。

応用分野

- ・異文化交流事業
 - ・多文化共生社会の構想
 - ・質的調査法に基づくエスノグラフィー作成
-